

超高層ビルに木材を使用する研究会主催  
SASST 共催

### 鋼木混合構造シンポジウム開催のお知らせ

ーシンポジウムテーマ：「都市木造の始まりと今、そして未来」ー

#### ●主旨：

カーボンニュートラルな社会の実現に向けた追い風の中、脚光を浴びているのが「都市木造」である。都市木造とは定義はいろいろあると思うが、ここでは都市の街並みの中に融け込むように佇む「ビル型の中大規模木造建築」とでも言うておこう。

都市木造の流れは海外で始まった。2000年代後半、ロンドンやメルボルンで10層のCLT集合住宅建設のニュースがもたらされると我国では驚きをもって受け止められた。当時我国では木造と言えば戸建て住宅等の小規模建物が殆どだったからである。

2009年の「公共建築物木材活用促進法」の制定を契機に、先導的プロジェクトへの助成金が創設されると、我国でも都市木造ブームが始まる。海外に比べれば10年以上の遅れたスタートではあったが、その後は冒頭でも述べたようにSDGs等の追い風もあって順調に発展を遂げ、特にここ最近の進展は隔世の感があると言っても過言ではない。

そのような状況を受けて今年度の記念シンポジウムでは、まず草創期からの都市木造ブームの一翼を支えてこられた安藤ハザマの麻生直木さん、それから今日の都市木造ブームの牽引役の一人でもある三菱地所設計の吉原正さんに基調講演をお願いする。その後、学識経験者、木材生産者等にも加わって頂き、コーディネータにはSASSTの田村和夫さんをお願いし、「都市木造の未来」をテーマにパネルディスカッションを企画した。

会員各位におかれましては、是非万障お繰り合わせの上、本シンポジウムへのご出席を賜りますようお願い申し上げます。

また、翌日の10月26日には竹中工務店さんのご厚意により、オプションツアーとして竹友寮（福岡市中央区警固2-12-25）の視察ツアーを企画致しましたので、併せてご参加頂きますようお願い申し上げます。

超高層ビルに木材を使用する研究会会長  
SASST 理事長 稲田達夫

#### 記

- 主催： 超高層ビルに木材を使用する研究会
- 共催： 建築鉄骨構造技術支援協会（SASST）
- 後援： 日本建築構造技術者協会（JSCA、予定）
- 開催日時： 10月25日（金）13：45～16：45
- 開催場所： TKP 博多駅筑紫口ビジネスセンター 301 会議室  
（〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街4-8 ユーコウビル3階／博多駅筑紫口より徒歩2分）  
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/bc-hakata-chikushiguchi/access/>
- 参加費： 無料
- 定員： 会場参加80名（他にWEB参加も可）
- プログラム

主旨説明 : 稲田達夫氏 (研究会会長、SASST 理事長) 10分

基調講演 1 : 麻生直木氏 (安藤ハザマ) 45分

基調講演 2 : 吉原正氏 (三菱地所設計) 45分

10分休憩

パネルディスカッション

麻生直木氏 (前掲)、吉原正氏 (前掲)、稲田達夫氏 (前掲)

倉富洋氏 (鹿児島大学准教授、学識経験者として)

桐野昭寛氏 (山佐木材、木材生産の立場から)

田村和夫氏 (コーディネータ、元千葉工大教授、SASST 常務理事)

16:45 終了予定

18:00 懇親会 (立食、会費 : 5000円)

会場 : カンティーナ シチリアーナ博多 (シチリア料理専門店)

(JR 博多シティアミュプラザ博多 9階 / 博多駅直結)

<https://www.cantinasiciliana.jp/hakata>

◎参加申し込みは、稲田宛メール (intatsuo@aol.com) をお願いします

参加者名、所属、メールアドレス、連絡用携帯番号

会場参加・WEB 参加の種別

懇親会の出欠

を明記願います。

●オプションツアーのご案内

日時 : 10月26日 (土)

定員 : 約20名

参加費 : 無料

行先 : 竹中工務店「警固竹友寮」(福岡市中央区警固 2-12-25)

主要用途 : 単身者用社宅、地上5階建、木造+鉄筋コンクリート造

<https://www.takenaka.co.jp/design/works/kego-chikuyuryou/>

注意事項)

参加者が10名以上となった場合には、

第1部 11:00~と第2部 13:00~

に分けて実施することになります。

◎申し込みは、稲田宛メール (intatsuo@aol.com) をお願いします。

参加者名、所属、メールアドレス、連絡用携帯番号

を明記願います。

以上